●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
株主確定日	①定時株主総会　毎年3月31日 ②期末配当金　毎年3月31日 ③中間配当金　毎年9月30日 なお、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日を株主確定日といたします。
公告掲載方法	電子公告により当社ホームページ（http://www.shiroki.co.jp）に掲載いたします。 （なお、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告が出来ない場合は、日本経済新聞に公告いたします。）
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100－8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先 お問い合せ先）	〒137－8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 **三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部** **フリーダイヤル：0120－232－711（通話料無料）**
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社　全国各支店 **※株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記のフリーダイヤル（自動応答）およびインターネットで24時間承っております。** **フリーダイヤル：0120－244－479（通話料無料）** **インターネットアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/**
上場証券取引所	東京・名古屋（市場第1部）
単元株式数	1,000株
証券コード	7243

当社の企業情報はホームページでもご提供しております。

アドレス：http://www.shiroki.co.jp

〔主要なコンテンツ〕

- ●IR情報
- ●会社案内
- ●製品紹介
- ●ニュース リリース

第 91 期

報　告　書

平成19年 4 月 1 日から
平成20年 3 月31日まで

システム化に対応する大型無響音室

SHIROKI CORPORATION

シロキ工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
当社グループの第91期（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）の営業を終了いたしましたので、その概要につきましてご報告申し上げます。

当期における自動車業界は、各自動車メーカーの新型車投入やモデルチェンジによる積極的な需要喚起がはかられたものの、ガソリン価格上昇の影響や買い替えサイクルの長期化などにより、国内新車販売は２年連続の前年割れとなりました。しかし、国内生産は中近東やヨーロッパ向けなどを中心とした好調な輸出にけん引され堅調に推移いたしました。
一方、海外では燃費性能に優れた日本車人気を背景に、販売は引き続き好調を維持し、生産もアジア、ヨーロッパなどを中心に拡大いたしました。
こうした経営環境のなか、当社グループでは製品の「小型軽量化・低コスト化・共通化」に全力で取り組み、付加価値向上と競争力強化に努めるとともに、国内生産体制を見直し、一層の効率化を進めてまいりました。また、北米・中国・タイを中心とした海外生産および供給体制の整備にも引き続き取り組んでまいりました。

【国　内】
国内におきましては、新たに開発推進部を設置し、設計部門の支援強化と製品開発の加速をはかりました。また、システム・モジュール製品への取り組みや車両に装着したまま性能評価ができる大型で最新鋭の恒温槽や無響音室の導入など、高付加価値・高品質製品への対応を進めてまいりました。
生産現場では、自動化の推進や工程集約化などによる生産ラインの人員２分の１化を目指した「モノつくり改革」を進めるとともに、豊川工場製造第４課（旧豊田工場）の生産を順次、名古屋、豊川工場に移管し、中京地区における３工場体制から主力２工場体制への再編を推進し、生産の効率化に取り組んでまいりました。
また、九州シロキ株式会社（北九州市）では、トヨタ自動車九州株式会社向けに主力のウインドレギュレータの生産を開始するなど、九州地区における得意先自動車メーカーからの新規受注と生産増に対応いたしました。

【海　外】
（北　米）
シロキ GA LLC（ジョージア州）の拡張工場がドアサッシの生産を始め、シロキ GT LLC（テネシー州）もウインドレギュレータの生産を開始するなど、日系自動車メーカーからの新規受注と増産に対応いたしました。また、米国３工場における分業化を進め、主力のシロキノースアメリカ株式会社（テネシー州）はシート部品、シロキ GA LLCはドアサッシ、シロキ GT LLCはウインドレギュレータの専門工場とし、集中生産による効率化を進めるなど、北米事業の強化に努めてまいりました。

（中　国）
広州白木汽車零部件有限公司（広州市）の第２工場が昨年７月竣工し、ウインドレギュレータとモールデイングの専門工場として稼動を開始し、２工場体制による生産の効率化を推進いたしました。また、人材と部品調達の現地化を進めるなど、生産拡大と事業基盤の強化に努めてまいりました。

（タ　イ）
シロキタイランド株式会社（チョンブリ県）がモーターとECU（電子制御装置）を一体化した新型ウインドレギュレータの現地組み立て生産を開始し、生産品目の高付加価値化を進めたほか、新規受注品の量産化に向けて大型プレス機を導入するなど、生産体制の整備・拡大に取り組んでまいりました。

（その他）
高成長が期待されるインドでは、すでに技術供与を行っている現地自動車部品メーカーのテクニコ インダストリーズ株式会社（ハリアナ州）に、昨年９月に資本出資したほか、技術者の指導・育成を行うなど提携先との関係強化を進めてまいりました。

こうした結果、当期の当社グループの業績につきましては、サブプライムローン問題の影響により、米国で減速感が一部に出始めましたが、得意先自動車メーカーの輸出好調に伴う堅調な国内生産や海外生産体制の充実、および新製品開発などの効果により、順調に業績を伸ばすことができました。その結果、売上高は1,435億５千７百万円（前期比7.5％増）、また、利益につきましては、徹底した合理化活動による収益改善と海外での利益増加が大きく貢献し、営業利益は50億５千８百万円（前期比58.9％増）、また、経常利益は円高等の影響により39億３千１百万円（前期比23.3％増）となり、当期純利益は29億７百万円（前期比80.3％増）となりました。

今後の課題
当面の国内販売は、新型車投入などによる市場の活性化が期待されますが、消費の多様化や景気の先行き不安などにより､大きく好転することはないものと思われます。一方、国内生産は輸出に支えられ、堅調に推移するものと予想されますが、米国を中心とする景気の減速や円高の定着など、予断を許さない環境にあります。
このような状況のなか、当社グループといたしましては、本年４月より新中期経営計画をスタートさせました。技術・生産・調達などの各分野において、新しい事業の枠組みを構築し、さらなる収益確保を狙うとともに、より筋肉質のグローバル企業を目指してまいります。
まず、国内における収益基盤を磐石なものにするため、これまでに培った技術による製品の付加価値拡大を加速してまいります。さらに、生産体制の再編や「モノつくり改革」の一環としての新生産方式の開発・導入により、将来の国内減産にも対応できる体制を順次構築してまいります。また、これら国内で構築した新しい生産方式や生産体制を海外に展開してまいります。
当社グループといたしましては、「専門メーカーとしてお客様から評価される」ことを目指し、世界競争に勝ち抜いてまいる所存でございます。
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

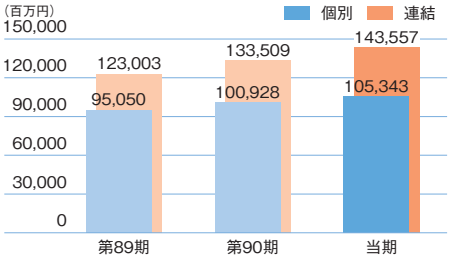
取締役社長
伊地知舜一郎

平成20年６月

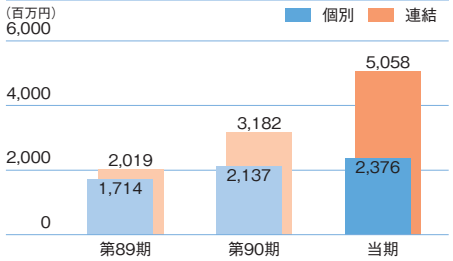
Financial Data

財務データ

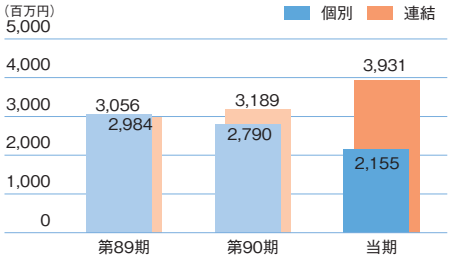
売上高の推移



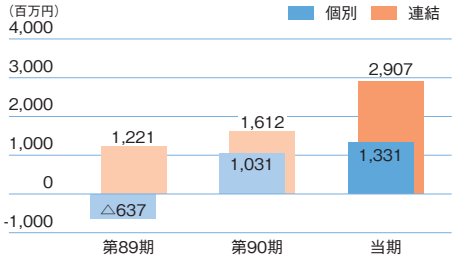
営業利益の推移



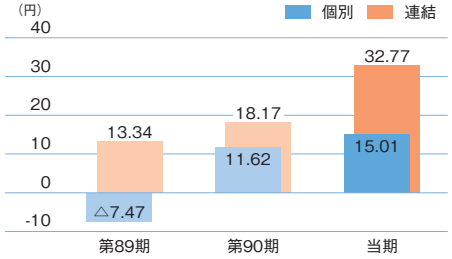
経常利益の推移



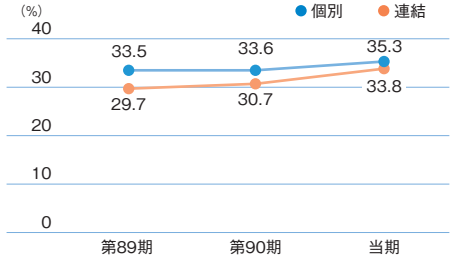
当期純利益の推移



1株当たり当期純利益の推移



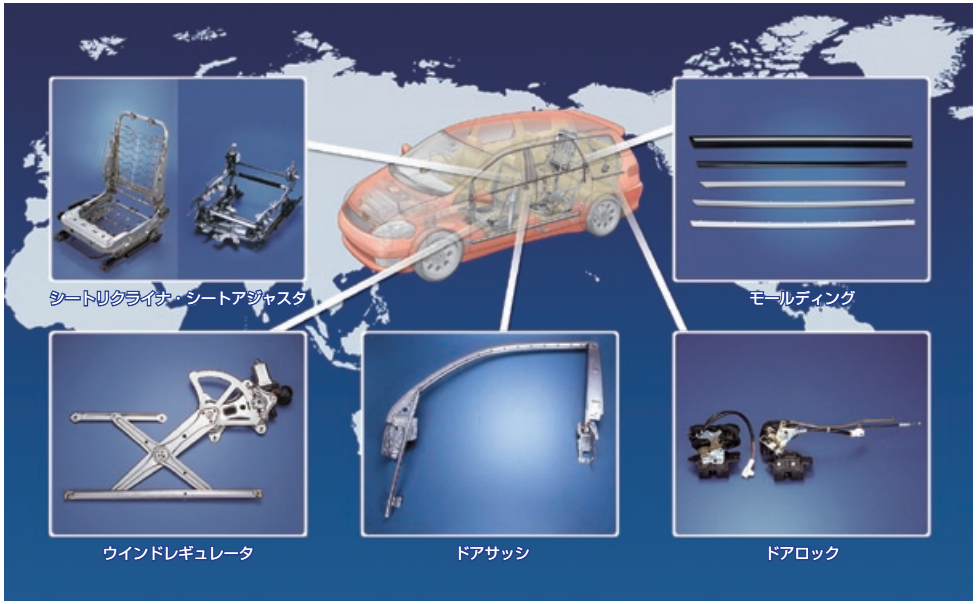
自己資本比率の推移



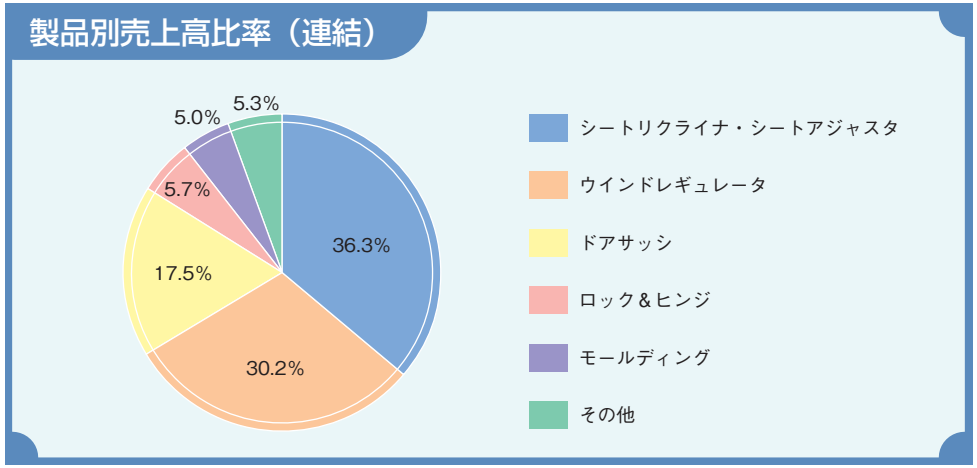
Our Products

製品紹介

世界No.1の魅力ある製品づくり



製品別売上高比率（連結）



連結財務諸表

■連結貸借対照表

（単位：百万円未満切り捨て）

科目	当期（平成20年３月31日）	前期（平成19年３月31日）
（資産の部）		
流動資産	42,112	38,168
現金及び預金	8,517	6,428
受取手形及び売掛金	25,010	24,670
たな卸資産	4,000	3,560
前払費用	163	159
繰延税金資産	707	678
未収入金	2,149	1,717
その他	1,564	961
貸倒引当金	△ 2	△ 7
固定資産	44,407	47,604
有形固定資産	36,677	38,921
建物及び構築物	7,839	6,959
機械装置及び運搬具	19,328	19,710
工具器具及び備品	4,668	4,996
土地	3,164	3,111
建設仮勘定	1,677	4,144
無形固定資産	687	888
投資その他の資産	7,042	7,795
投資有価証券	1,176	1,617
長期貸付金	203	640
繰延税金資産	5,196	5,313
その他	496	585
貸倒引当金	△ 30	△ 362
資産合計	86,519	85,773

科目	当期（平成20年３月31日）	前期（平成19年３月31日）
（負債の部）		
流動負債	33,034	33,863
支払手形及び買掛金	23,130	22,289
短期借入金	1,483	3,308
一年以内返済の長期借入金	434	78
未払金	670	1,132
未払消費税等	274	209
未払法人税等	318	730
未払費用	2,430	2,160
賞与引当金	1,309	1,229
役員賞与引当金	63	61
設備関係支払手形	16	12
設備未払金	2,004	2,166
その他	898	485
固定負債	24,156	25,493
長期借入金	17,175	17,920
退職給付引当金	5,950	6,278
役員退職慰労引当金	89	174
繰延税金負債	29	50
長期未払金	905	1,063
その他	5	5
負債合計	57,190	59,356
（純資産の部）		
株主資本	28,051	25,704
資本金	7,460	7,460
資本剰余金	9,699	9,699
利益剰余金	10,983	8,609
自己株式	△ 91	△ 63
評価・換算差額等	1,153	642
その他有価証券評価差額金	227	452
為替換算調整勘定	926	189
少数株主持分	122	69
純資産合計	29,328	26,416
負債純資産合計	86,519	85,773

■連結損益計算書

（単位：百万円未満切り捨て）

科目	当期（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）		前期（平成18年４月１日から平成19年３月31日まで）	
売上高		143,557		133,509
売上原価		127,025		119,090
売上総利益		16,532		14,418
販売費及び一般管理費		11,473		11,236
営業利益		5,058		3,182
営業外収益				
受取利息・配当金	114		104	
持分法による投資利益	81		–	
部品開発委託料	138		32	
ロイヤリティ	64		–	
固定資産売却益	22		254	
為替差益	–		183	
その他	61	483	164	739
営業外費用				
支払利息	508		435	
為替差損	975		–	
持分法による投資損失	–		146	
その他	125	1,609	150	732
経常利益		3,931		3,189
特別利益				
貸倒引当金戻入益	29		39	
製品補償費戻入益	35		71	
受取補償金	43		–	
工場立地助成金	–		6	
その他	10	119	6	123
特別損失				
減損損失	54		183	
固定資産除却損	437		380	
固定資産売却損	11		141	
その他	33	536	27	732
税金等調整前当期純利益		3,514		2,580
法人税、住民税及び事業税		347		924
法人税等調整額		212		34
少数株主利益		46		8
当期純利益		2,907		1,612

■連結株主資本等変動計算書（要旨）（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：百万円未満切り捨て）

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	7,460	9,699	8,609	△ 63	25,704	642	69	26,416
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 532		△ 532			△ 532
当期純利益			2,907		2,907			2,907
自己株式の取得				△ 27	△ 27			△ 27
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						511	53	564
連結会計年度中の変動額合計	–	–	2,374	△ 27	2,346	511	53	2,911
平成20年3月31日残高	7,460	9,699	10,983	△ 91	28,051	1,153	122	29,328

個別財務諸表

貸借対照表

（単位：百万円未満切り捨て）

科目	当期（平成20年３月31日）	前期（平成19年３月31日）
（資産の部）		
流動資産	34,054	31,368
現金及び預金	4,542	2,719
受取手形	901	2,089
売掛金	21,130	19,312
製品	596	557
原材料	737	781
仕掛品	547	490
貯蔵品	17	13
前払費用	96	104
繰延税金資産	604	609
未収入金	3,664	2,714
短期貸付金	1,143	1,964
その他	73	12
固定資産	41,082	45,885
有形固定資産	23,949	27,409
建物	3,665	3,839
構築物	531	566
機械及び装置	13,077	13,605
車輌及び運搬具	9	11
工具器具及び備品	3,420	4,089
土地	2,465	2,472
建設仮勘定	780	2,824
無形固定資産	641	849
投資その他の資産	16,490	17,625
投資有価証券	657	679
関係会社株式	6,151	6,522
関係会社出資金	1,324	1,324
長期貸付金	5,646	6,318
長期前払費用	0	1
繰延税金資産	4,776	4,806
その他	388	467
投資損失引当金	△ 2,072	△ 2,141
貸倒引当金	△ 381	△ 352
資産合計	75,136	77,253

科目	当期（平成20年３月31日）	前期（平成19年３月31日）
（負債の部）		
流動負債	25,460	27,531
支払手形	14	9
買掛金	19,605	18,617
短期借入金	–	2,000
未払金	343	396
未払消費税等	249	179
未払費用	1,228	1,257
未払法人税等	260	682
預り金	137	105
賞与引当金	1,186	1,114
役員賞与引当金	54	51
設備関係支払手形	16	12
設備未払金	2,194	2,421
その他	169	682
固定負債	23,139	23,786
長期借入金	17,000	17,000
退職給付引当金	5,841	6,184
役員退職慰労引当金	80	167
その他	217	435
負債合計	48,599	51,317
（純資産の部）		
株主資本	26,367	25,578
資本金	7,460	7,460
資本剰余金	9,699	9,699
資本準備金	9,699	9,699
利益剰余金	9,281	8,482
利益準備金	1,327	1,327
その他利益剰余金	7,954	7,154
圧縮記帳積立金	44	46
別途積立金	5,405	5,055
繰越利益剰余金	2,504	2,052
自己株式	△ 73	△ 62
評価・換算差額等	169	357
その他有価証券評価差額金	169	357
純資産合計	26,537	25,935
負債純資産合計	75,136	77,253

損益計算書

（単位：百万円未満切り捨て）

科目	当期（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）		前期（平成18年４月１日から平成19年３月31日まで）	
売上高		105,343		100,928
売上原価		93,397		89,267
売上総利益		11,946		11,661
販売費及び一般管理費		9,570		9,523
営業利益		2,376		2,137
営業外収益				
受取利息・配当金	530		349	
ロイヤリティ	464		449	
為替差益	–		88	
その他	315	1,310	202	1,090
営業外費用				
支払利息	365		276	
為替差損	1,121		–	
その他	44	1,531	161	437
経常利益		2,155		2,790
特別利益				
投資損失引当金戻入益	69		–	
貸倒引当金戻入益	29		2	
製品補償費戻入益	35		71	
受取補償金	43		–	
その他	9	186	3	77
特別損失				
減損損失	54		176	
固定資産除却損	437		379	
固定資産売却損	11		141	
貸倒引当金繰入額	58		170	
たな卸資産廃棄損	29		22	
投資損失引当金繰入額	–		52	
その他	42	632	3	945
税引前当期純利益		1,708		1,922
法人税、住民税及び事業税		217		836
法人税等調整額		159		54
当期純利益		1,331		1,031

株主資本等変動計算書（要旨）（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：百万円未満切り捨て）

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	7,460	9,699	8,482	△ 62	25,578	357	25,935
事業年度中の変動額							
圧縮記帳積立金の取崩し			–		–		–
別途積立金の積立			–		–		–
剰余金の配当			△ 532		△ 532		△ 532
当期純利益			1,331		1,331		1,331
自己株式の取得				△ 10	△ 10		△ 10
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）						△ 187	△ 187
事業年度中の変動額合計	–	–	799	△ 10	788	△ 187	601
平成20年3月31日残高	7,460	9,699	9,281	△ 73	26,367	169	26,537

株式の状況（平成20年3月31日現在）

❶株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	89,003,624株
株　主　数	6,826名

❷大株主の状況（上位10名）

①東京急行電鉄株式会社	25,422千株(28.56%)	⑥株式会社豊栄商会	2,261千株（2.54%）
②トヨタ自動車株式会社	15,067千株(16.93%)	⑦シロキ工業持株協力会	2,177千株（2.45%）
③日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,845千株（4.32%）	⑧日本生命保険相互会社	1,920千株（2.16%）
④三菱UFJ信託銀行株式会社	3,559千株（4.00%）	⑨ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	1,662千株（1.87%）
⑤日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,563千株（2.88%）	⑩シロキ工業従業員持株会	1,326千株（1.49%）

（注）（　）内は持株比率を表示しております。

役員の状況（平成20年6月25日現在）

代表取締役社長	伊地知　舜一郎	取締役	森田　隆信
代表取締役専務	橋間　義郎	取締役	堤　泰久
専務取締役	杉山　森夫	取締役	上條　清文
専務取締役	後藤　和行	取締役	鈴木　克久
常務取締役	小橋　賢司	常勤監査役	古川　俊雄
常務取締役	佐竹　史郎	常勤監査役	大橋　敦志
常務取締役	大石　勝美	監査役	佐々木　眞一
取締役	河本　正	監査役	岩田　哲夫
取締役	坂部　威夫		

（注）1．取締役のうち、上條清文および鈴木克久の両氏は、社外取締役であります。
2．監査役のうち、古川俊雄、佐々木眞一および岩田哲夫の各氏は、社外監査役であります。

配当金の口座振込のおすすめ

株主様ご指定の金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合）の預金口座またはゆうちょ銀行口座にて直接配当金をお受け取りいただけます。

この方法をお申し込みいただきますと、それ以後はご指定の口座にて自動的に配当金をお受け取りいただけますので、ご利用されることをおすすめいたします。

ご変更手続き用紙のご請求ならびにご不明な点は株主メモに記載の当社株主名簿管理人までご照会下さいますようお願い申し上げます。

TOPICS

大型・最新鋭の恒温槽と無響音室を導入

車両に装着したまま性能評価ができる大型で最新鋭の恒温槽や無響音室を本社実験棟内に導入し、これにより一部品の性能保証から車両システムとしての性能保証を可能にし、自動車部品のシステム化に対応するとともに、高付加価値・高品質製品への対応を進めました。

大型恒温槽

大型無響音室

シロキタイランドが生産体制を整備・拡大

シロキタイランド株式会社（タイ・チョンブリ県）が新規受注品の量産化に向けて大型プレス機を導入するなど、生産体制の整備・拡大に取り組みました。